

再評価結果（平成15年度継続箇所）

事業名		一般国道203号 ^{きむらき} 厳木バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点		自：佐賀県東松浦郡相知町大字長部田 至：佐賀県東松浦郡厳木町大字中島				延長	6.3km
事業概要							
厳木バイパスは、地域高規格道路佐賀唐津道路の一区間として、佐賀県内南北地域の交通連携を促進し、沿線市町村の連携強化、これらの地域の産業、経済の発展に寄与するとともに、リダンダンシーの確保、交通混雑緩和、物流効率化、緊急医療等の支援を行うために不可欠な道路であり、佐賀県の掲げる「県内主要都市間5分圏構想」の実現を支援する道路である。							
S59年度事業化		H-年度 都市計画決定 (H-年度 変更)		S61年度用地着手		S63年度工事着手	
全体事業費		約360億円		事業進捗率	66%	供用済延長	4.3km
計画交通量		29,800台/日					
費用便益比 (全区間)	B/C	総費用		総便益		基準年	
	3.1	266億円 事業費：220億円 維持管理費：46億円		823億円 走行時間短縮便益：699億円 走行費用減少便益：61億円 交通事故減少便益：62億円		平成15年	
事業の効果等							
I-(2) 物流効率化の支援（港湾へのアクセス改善・・・唐津港） II-(1) 都市圏の交通円滑化の推進（現道の旅行速度が20km/h以下の区間が存在・・・17.5km/h）							
関係する地方公共団体等の意見							
佐賀県知事を会長とする「国道203号佐賀・唐津幹線道路整備促進期成会」（3市14町）より早期整備の要望（平成14年2月9日）を受けている。							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等							
交通量が増加し、早期事業推進が求められている。（交通量 T'85=12,672台/24h T'99=17,670台/24h）							
事業の進捗状況、残事業の内容等							
平成13年度末までの用地進捗率は86%に達し、既に4.3kmが暫定供用（2/4）されている。							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等							
今後事業を推進するために必要な関係機関との協議、ならびに地権者の理解も得られていることから、円滑な事業執行が可能である。							
施設の構造や工法の変更等							
コスト縮減に努め、新技術・新工法の積極的な活用を図る。							
対応方針 事業継続							
事業概要図							